

<令和2年度 教育実習終了「一番印象に残ったこと」>

9月7日（月）～9月29日（火）までの15日間、本校の卒業生である4名が本校で教育実習を行いました。最終日に「一番印象に残ったこと」を伺いました。

中西 由佳 さん（国語）

5分前着席が徹底されていることです。特に国語の授業前には、毎時間行われている漢字テストに向けて、全員が着席し、机に向かっている姿が印象的でした。

長島 晴彦 さん（数学）

教室や学校の道具、設備を大切に使っているところです。毎日、生徒全員で掃除を行ったり、廊下や教室にゴミが落ちていたら生徒自ら拾っているところを見て、生徒一人ひとりが学校環境を作り、より良い里中に行っているのだと思いました。

白神 潤也 さん（英語）

生徒の一つひとつの行動です。掃除の時間では、全員が自分の持ち場を楽しみつつ、精一杯掃除し、持ち場が終わったら自ら他の掃除場所や細かな部分を掃除する姿勢。

また、昼休みにも関わらず、学級委員を中心にクラスの課題と成果を話し合っている場面など、授業以外の活動を通してお互いを指摘し合い、切磋琢磨して生活している姿をどこか羨望の眼差しで見っていました。母校のこのような変貌に心を打たれ、とても印象に残っています。

高橋 涼介 さん（保健体育）

生徒の挨拶です。元気な挨拶はする方もされる方も気持ちよく、された方はとても爽やかな印象を受けます。里中の生徒には、3週間という短い期間でたくさんの爽やかなエネルギーをもらいました。一日の始まりから終わりまで、元気に挨拶する姿は、かっこよく、私のこれからのお手本です。これからも、かっこいい里中生、爽やかな里中生でいてください。

